



# KYTの進め方は、どうするの？



## 第1ステップ：どんな危険が潜んでいるか (危険の発見)

現状を把握し、どのような危険があるかを洗い出します。

**方 法** グループで話し合い、「～して～になる」「～なので～になる」という具体的な形で意見を出し合います。

**記 録** 記録係は、出された意見を模造紙などに箇条書きでまとめます。



## 第2ステップ：これが危険のポイントだ (重点をしぼる)

出た意見の中から、重要なものに絞り込みます。

**方 法** 「みんなの関心が高いもの」や「重大な事故につながる可能性があるもの」を2～3項目選びます。

**意識付け** 全員でそのポイントを指差し唱和し、共通の意識を持ちます。



## 第3ステップ：私ならこうする (対策を考える)

絞り込んだ危険に対して、具体的な解決策を考えます。

**方 法** 「自分ならこうする」「こうすることが必要だ」という実行可能な対策を出し合います。

**合意形成** グループとして「こうすべきだ」という共通の行動内容を決定します。



## 第4ステップ：私たちはこうする (目標の設定)

最後に、必ず実行する目標を決めます。

**方 法** 第3ステップの対策から、特に重要なものを「重点項目」として決定します。

**スローガン化** 「～を～して～しよう」とスローガンにし、行動目標とします。

**決意表明** 全員で起立し、その目標を、指差しして“よし!!”唱和し、一人一人の意識に刻みます。



**所要時間**：慣れないうちは各ステップ10分（計40分）程度かけますが、慣れてくれば全体で20～30分程度で実施できるようになります。

**ねらい**：日頃から危険を予知・予測し、主体的に対処できる能力を養うことが目的です。

**KYT（K：危険 Y：予知 T：トレーニング）の略語です。**